

明日に 向かって

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

Vol.

15

2002年6月発行



1年を振り返って



会長
加藤 恵一

早いもので、10年目の節目の会長職を皆様のおかげで何とか全うする事が出来たのではないかと思います。本年度は、10周年記念例会と記念事業や5名のリジョン役員方々の出向・リジョン事務局と皆様には多大なご負担をお掛け致しました。この紙面をお借り致しまして、クラブ役員の皆様、会員の皆様のご協力と新任の事務局 林さんの努力に、厚く感謝申し上げます。

当クラブも例外ではありませんが、全国的に会員が減少傾向にあり、それがクラブ運営に影響しているクラブが沢山出てきています。運営費の節約、運営の効率化のため、理事会構成を委員長理事主体とし、委員会の活性化を進め、2、3の委員会では活発な委員会活動が行われました。これにより、会員相互の親睦がはかられました。このように委員長・副委員長さんの活躍がクラブを活性化させ、活発化させていく事と思います。

「知ってもらおうライオンズ 創ろう21世紀のアクティビティー 地域と共にウィーサーブ」のスローガンのもと、私達の活動を市民の方々に知って頂くための初めてのPR誌の発刊、環境の時代と言われる21世紀にふさわしい虎渓山桜再生計画の立案及び実行、9年目を迎え全中学校から参加して頂いた中学生による環境問題作文コンクールそして多治見・笠原 600人の仲間達の発刊、幼稚園児・保育園児によるリサイクル作品展、正月早々からのYE生の受け入れなどの活動が実行されました。

そして、高い評価を頂いたと確信しています。

思い起こせば、書き尽くせないほどのいろいろな事があり、チャーター以来これほど忙しい1年間を会長として過ごせた事を感謝し、更なる発展を次年度前田会長に託し、感謝・感謝・感謝 本当に皆様ありがとうございました。

1年を振り返って

計画委員会 長尾 純夫

陶都ライオンズクラブのメンバーとなって1年足らずで、計画委員会の副委員長を仰せつかり、大丈夫かなと不安でいっぱいでしたが、会長や幹事のアドバイスや、担当副会長の思いやりに助けられ何とかプツンせずにやってこられた気がします。

7月Zチェアマン訪問例会・10月の劇団四季観劇と居酒屋にての家族例会・10周年記念の懇親会など、様々な事業を無事クリアー。これも、委員会の皆様のご協力のたまものと存じ上げます。

おっと、一番大切な親分を忘れていました。

理事会への「俺、今度理事会行けんで、おまえ行ってこい」という代理出席、「委員会を飲み屋でやるでコンパニオンむかえにいつてこう」「今度の例会、俺いかへんで、お前さよなら例会の案内しとけ」何かと人使いの荒い若尾治美委員長様の御機嫌を損なわぬよう、文句を言うには大変難しいようで、簡単でした。

奥村直、直前会長に「長尾君、お前、あいつになんか弱味を掴まれとれせんのか?」と言われるほどの仲の良さ。互いに「まあ、俺が面倒見たらな、しょうがない」と納得しあってます。ともかく一年が過ぎようとしています。

桜再生プランも次年度、前田会長の下、尾関先生の実践型事業に期待し、今後もライオンズ活動に頑張っていきたいと思えます。

第240回例会案内(さよなら例会)

日時	6月21日(金)	18:00(時間厳守)
		18:00~18:20 例会
		18:20~18:30 集合写真(4Fスタジオ)
		18:30~20:30 懇親会(ディナーショー)
場所	多治見高砂殿(Tel 0572-27-8811)	

今回は、是非奥様も御一緒にお越しください!

※奥様の会場入場は、18:30です。早くお越しの奥様は、申し訳ありませんが、ロビーにてお待ち下さる様お願い申し上げます。

<私の場合 tell (話す) twister (心の曲がった人) >

一年間私の下らないおしゃべりにつき合っていたいただきありがとうございました。私自身は色々な勉強になり非常に感謝しております。皆様から頂いたドネーションに対し、どのようなコメントを言うか、又どのような反応をすれば良いのかを絶えず考える事は、若いながらにボケが始まって来た私にとっては良い刺激となりました。私自身テールツイスターを非常に楽しんでおりましたので、小芝ライオンの出番を奪ってしまった様で申し訳なく思います。しかしながらそのおかげで介護保険の厄介になるのが5年は延びたのではないかと思います。皆様も是非ともテールツイスターをやってみてください。



さて、感謝だけでは物足りないので感想を述べさせて頂きたいとおもいます。一年間を振り返って、暗い世相を反映してかドネーションが少ないなと思いました。そこで

快癒力 (篠原佳年著より)

病気が治りにくい人

- ① 治りたいとバタバタする人
- ② 治らないと思っている人
- ③ 病気になった方が都合のいい人

病気が治りやすい人

- ① 病気を諦めた人
- ② 病気を忘れた人
- ③ 人のために生きようとする人



稲盛和夫の哲学 (稲盛和夫著より)

自由を適宜抑えて、悪をなさないようにする事を「持戒」と言います。他人を助けてあげる事を「布施」と言います。「持戒」で自由を抑えて悪を作らず、「布施」で人様に思いやりをかけると菩薩になれる。逆に自然のまま煩惱に任せて自由に行動すると悪魔になる。

つまり、ドネーションほど奉仕の精神を表すものは無いと思います。GIVE & TAKE ですら GIVE が先に来ます。ましてドネーションは GIVE のみで TAKE がありません。上記の言葉を無理矢理曲解すれば、ドネーションをすれば病気が治りやすいし、それ以上に病気になりにくい、そして菩薩様になれるという事になります。皆さん積極的にドネーションをしましょう。そして集まった浄財を有意義に使っていただけるような方策を執行部の方々は知恵を絞って考えてみてください。

最後に皆様が暗い時代を乗り越え明るくドネーションをしていただける事を願って!

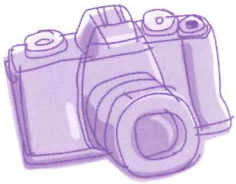
[ほとんど全ての人は、もうこれ以上アイデアを考えるのは不可能だと言うところまで行き着き、そこでやる気なくしてしまう。いよいよこれからだというのに…]

<トーマス・エンジン>

Album

2001～2002

一年間の足跡



恵ちゃん10周年頼むよ！ 照ちゃんご苦労さん。



自閉症協会の皆さんを迎えて。

がはははっ
にひひひっ



家族例会はいいなあ。楽しみだなー。



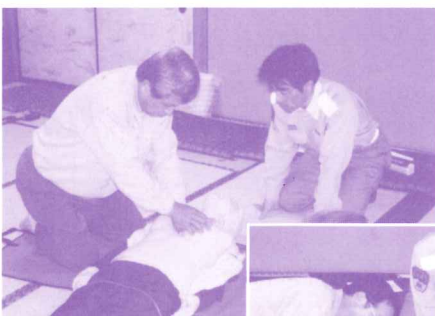
交換留学生のジェミーラウちゃんと奈詞子さん



9年間皆出席の中学生のみなさん



作文コンクール 多治見市長賞
多治見中学校 土岐佳輝君です。



救急救命訓練



10年間皆出席！驚きです。

<後 記>

10周年記念号として発刊する予定が遅くなりました。ご免下さい。本当に月日の経つのが早く感じます。若くないという事でしょうか？

毎年、全員参加のクラブ継続事業はあってもいいのじゃないだろうか。弁当を食う為に集まるだけでは、メンバーも減少するばかりだと思ふ。何かをする為にクラブ員になったのだから。計画実行するのは大変だろうが、事業後の美酒の為に。(剛)

そうそう、やさしく息をふきこんで。